



大和

やまと

美し

川端康成と安田靉彦

うるは

二大コレクションと良寛
美と文学のコラボレーション

2009年4月4日[土]—5月10日[日]

休館日=第1月曜日(4月6日)、4月27日(月)は展示替のため休室
(5月の第1月曜日は開館します)
開館時間=10:00-18:00[毎週金・土曜日は20:00まで] ※入場受付は閉館の30分前まで
観覧料=一般1,000円(800円)/大学・高校生700円(560円)/小・中学生無料
*()内は前売り、団体50名様以上および市内在住60歳以上の料金
*前半券は千葉市美術館ミュージアムショップ(3月27日まで)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」
「都賀駅」「千城台駅」の窓口(5月10日まで)にて販売

主催=千葉市美術館
特別協力=財団法人良寛記念館
監修=川端香男里(財団法人川端康成記念会理事長)/安田建一
企画=水原園博・平山三男(財団法人川端康成記念会評議員)

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311(代)
<http://www.ccma-net.jp>

- | | | | | |
|----|---|---|---|--|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1—俵屋宗達《獅子図》(部分) 江戸時代 |
| 5 | 6 | 7 | | 2—尾形光琳《仙童図香包》(部分) 江戸時代 |
| 8 | 9 | | | 3—《聖徳太子立像》(部分) 鎌倉時代 川端康成記念会蔵 |
| 10 | | | | 4—手鏡と 安田靉彦 1963年 撮影/片山攝三(部分) |
| | | | | 5—《金剛三結片》(部分) 平安時代 奈良国立博物館蔵 |
| | | | | 6—ロダンの《女の手》を見る川端康成 1950年 撮影/林忠彦(部分) |
| | | | | 7—安田靉彦《飛鳥の春の額田王》(部分) 1963年 滋賀県立近代美術館蔵(4/28~5/10展示) |
| | | | | 8—《聖徳太子乙女頭部》古墳時代 川端康成記念会蔵 |
| | | | | 9—逸大筆《十便図》のうち《釣便》(部分) 1774年 川端康成記念会蔵 国宝 |
| | | | | 10—《平治物語絵巻残欠 六波羅合戦巻》(部分) 鎌倉時代 |

良寛書《三字「道白雲」》(部分) 良寛記念館蔵

作家・川端康成(かわばたやすなり 1899-1972)は、「伊豆の踊子」「雪国」など、伝統的な美に根ざす叙情性豊かな名作を数多く残し、1968年に日本人初のノーベル文学賞を受賞した際の受賞講演では、良寛に触れて、その心の世界を発信しました。

画家・安田靉彦(やすだゆきひこ 1884-1978)は、優美な線描と典雅な色彩で、古代史への深い造詣に裏打ちされた歴史画を確立しました。また、その生涯は良寛に捧げられたといっても過言ではなく、良寛研究の第一人者でした。

昭和23年、安田靉彦が川端全集の表紙画を描いたことが契機となり、二人の交流は始まりました。二人の絆をより強固にしたのは古美術品が好きだったことです。美術品コレクターとして安田は大先輩、川端は名品を入手すると鎌倉から大磯まで持参し、至福の時を共有しました。古美術は二人を支え、日本の良きもの、美しきものの探求となって創作に活かされます。

本展は、川端康成と安田靉彦の創作の源泉となった美術品や、共に敬慕した良寛の遺墨、安田靉彦の絵画など約250点を展覧します。24年間に亘る二人の交流の中で共に感じ、憧れ、探求した日本美のありかをご覧いただければ幸いです。

(会期中に一部の作品の展示替えがあります。)



2



3



4



5



6



7

- 1—川端康成と安田靉彦 大磯の安田邸にて 1950年6月22日 撮影/林忠彦
- 2—《王子型水瓶》 唐時代
- 3—良寛(自画像) 江戸時代
- 4—《金銅蓮葉型香炉》 平安時代
- 5—浦上玉堂《東雲節雪図》 江戸時代
川端康成記念会蔵 国宝
- 6—安田靉彦《木花之佐久夜毘売》 1953年
- 7—《女神像》 平安時代

〔交通案内〕

- JR千葉駅東口より
・徒歩約15分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川(よしかわ)公園駅」下車徒歩5分
・バスのりば②より大学病院行、または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩3分
- 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- 東京方面から車では、京葉道路または東関東自動車道で野宮木ジャンクションから木更津方面へ。貝塚IC下車。国道51号を千葉市街方面へ約3km。広小路交差点近く。
- 地下に駐車場があります

大和し美し

川端康成と安田靉彦

関連企画

- 記念講演会「川端康成・美と伝統」
4月19日(日)14:00より
11階講堂にて/先着150名様/聴講無料
講師:川端香男里(財団法人川端康成記念会理事長)
- 映画上映会「壁画よみがえる〈法隆寺金堂壁画再現の記録〉」
4月26日(日)、5月3日(日・祝) 各日とも14:00~、16:00~の2回上映
11階講堂にて/先着150名様/入場無料
※昭和24年の火災で焼損した法隆寺金堂壁画。安田靉彦・前田青郎の総監修のもと、計14人の名だたる日本画家たちにより復元模写が行われた。全12面の模写完成までの画家たちの真摯な作業を詳細に映し出す。(1970年、日本映画新社、カラー、45分)
- ギャラリートーク
担当学芸員による:4月8日(水)、4月28日(月) 14:00より
ボランティアスタッフによる:会期中の毎週水曜日(4/8を除く) 14:00より
※チケットをお持ちの上、8階展示室入口にお集まりください。
- 市民美術講座
4月25日(土) 「川端康成と安田靉彦 二人の陶磁コレクション」
講師:薬科英也(当館学芸係長)
- 5月2日(土) 「画家と美術コレクション」
講師:松尾知子(当館学芸員)
- いずれも14:00より
11階講堂にて/先着150名様/聴講無料

次回展予告:

- 「パウル・クレー 東洋への夢」
5月16日(土)~6月21日(日)

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311 Fax. 043-221-2316
<http://www.ccma-net.jp>

